

《もくじ》

■特集：歴史の必然として地質に刻印された「人新世の危機」

2頁・土に命の花咲かそ

…加藤 登紀子(シンガーソングライター)

6頁・志賀原発・抗う思いを繋ぐ

……志田 弘子(「じゅり道工房」主宰)

7頁・理不尽な公共事業

……熊谷 金一郎(賛助会員)

奔流

題字揮毫・梅原猛

《第33号》

■発行

千曲川・信濃川復権の会

〒184-0012

東京都小金井市中町2-5-13

FAX・TEL 042-381-7770

■発行人・関島 保雄(共同代表)

■編集人・矢間秀次郎(事務局長)

■干振替・00120-0-710488

大河の一滴 (33)

音楽は時代を映す鏡

―わが心のビートルズ―

桑原 亘之介(編集委員)



たかが音楽さ
れど音楽。音楽
は人智を超える
力を持つことが
ある。心を病ん

だ人のリハビリに音楽療法が有効である
とされ、高齢者などの認知症状を緩和
させる効果もあるという。もちろん、
私たちを文字通り音で楽しませてくれ
る。

私は昭和歌謡が大好きで、造詣が深
い歌手で芸人のタブレット純さんが教
えるカルチャー・スクールの講座に毎
月通うほどである。

文化人類学者の中沢新一氏はいう。
「資本主義社会はありとあらゆるものを
『社会化』して、商品に変えてしまおう
とする。その流れに抗って、昭和歌謡
は社会化されない個人の情動の世界に、
自分たちの砦をつくろうとした。望郷
や恋慕の感情が、どの昭和歌謡の底を
も流れている。自分の中で失われかけ
ている自然なものを、必死で取り戻し
つなぎ止めようとして、果たせない切

い感情を、そのまま歌い出している」。

私は洋楽ファンでもある。特にビー
トルズが好きだ。中学時代に仲が良かった
女の子がファンだったことがきっかけ
で、すっかりミイラ取りがミイラになっ
てしまった。

私が高校2年生だった1980年1
月にポール・マッカートニーが成田空
港で大麻不法所持の現行犯で逮捕さ
れ、日本公演が中止になった。1月21日
(月)の日本武道館ライブのチケットを
持っていた。2F南東スタンドJ列27
番のS席だった。

その年の夏、ジョン・レノンが5年ぶ
りに音楽活動を再開した。その間、「主
夫」として、オノ・ヨーコとの間に生ま
れたシヨン君の子育てをしていた。秋
になると新曲がリリースされた。だが、
12月9日(日本時間)、ジョンは銃弾に
よって亡くなってしまった。

12月24日はとても寒い日だった。日
比谷野外音楽堂での追悼集会に行っ
た。それから5年後、最初の海外旅行
先として選んだのは、ビートルズ生誕の

地リパポールだった。

一時期メンタルを病んで、何も受け入
れられなくなっていた自分が、唯一枕元
に置いていたのがビートルズのベスト盤
だった。

そして、ビートルズ「最新の新曲」が
昨年末から話題になっている。ジョンが
亡くなる2年前に録音していたテープ
を最新技術で音質を改善して、存命の
ポール・マッカートニーとリンゴ・スター
が仕上げた。

タイトルは「Now and Then」。「時
々」と「あの頃と今」の両方の意味があ
る。二人の胸中を去来したものは何だっ
たのか。

東西冷戦下のソ連で、ビートルズの
音楽は「若者を墮落させる」としてこ
法度だったが、若者たちは隠れて聞き
続けた。プーチン露大統領はかつて「当
時、ビートルズを聞くというのは自由
な空気を吸うようなものだった」とポー
ルに打ち明けたことがあった。そのポー
ルはウクライナ侵攻でポールを裏切っ
た。

音楽は人を楽しませ、人を癒し、時
代を映す鏡だ。「自分は音楽が本当に
好きなのだなあ」と思う瞬間は自分が
幸せだということを実感出来る瞬間で
もある。

たかが音楽されど音楽、なのである。